

# 「ち」からはじまる未来 ~歴史を振り返り、未来を切り拓く~



千葉開府 900年

千の葉に 時を刻んで 900年

2025年上期  
市長と語ろう会(地域団体向け)

# 目 次

1. 千葉市らしさ .....	1
2. 千の葉に時を刻んで900年 .....	2
3. 新しく生まれ変わった施設 .....	4
4. 市民に長年親しまれている施設 .....	6
5. 音楽フェス、スポーツ .....	8
6. 千葉開府900年を記念するイベント .....	10
7. これから千葉開府900年に向けた取組み .....	20

# 1. 千葉市らしさ

## 千葉市らしい都市アイデンティティ



### 千葉市の都市イメージ

- ◆ 比較的新しい地域資源をもとに形成されており、固有の歴史やルーツに根差した都市イメージが希薄
- ◆ 人口減少社会を迎える中、千葉市が「選ばれる都市」「住み続けたい都市」になるためには、本市固有の「**都市アイデンティティ（千葉市らしさ）**」を確立し、内外に効果的にアピールする必要がある

※Q：千葉市には都市アイデンティティ（他の都市にはない固有の都市イメージ）があると思いますか？

A：思う 45.3%（2016年度千葉市WEBアンケートより）

51.9%（2024年度千葉市WEBアンケートより）

### 4つの地域資源

- 市内外から評価が高かったのは、「古いものと新しいもの、都会と田舎、様々な融合が魅力を生む街」と「海と緑に囲まれながら、本格的な文化・芸術・スポーツを楽しめる街」  
(2014年度「都市アイデンティティ確立に向けた基礎調査」より)
- これらを形成する下地となる本市固有の歴史やルーツに根ざした地域資源として、固有性・独自性などに着目して、「**加曽利貝塚**」「**オオガハス**」「**千葉氏**」「**海辺**」の4つを選び、都市アイデンティティ形成のために活用



⇒2026年の「千葉開府900年」を機に、郷土への愛着と誇りを持っていただきたい！そこで…

## 2. 千の葉に時を刻んで900年

### 千葉開府900年とは



**千葉市は来年2026年、  
まちとしての歴史が始まった開府から900年を迎える**

#### 千葉市のまちとしての歴史の始まり

- ◆ 1126年6月1日  
桓武天皇の子孫・千葉常重が現在の緑区大椎町から  
中央区亥鼻付近に本拠を移したことでまちとしての歴史が始まった

#### 千葉開府900年の意義

- ◆ 千葉開府900年の最も重要な意義は、  
千葉一族のチャレンジスピリットを、受け継ぎ行動することを通じて、  
人とまちがともに輝く未来へつなげていくこと
- ◆ 千葉開府900年という歴史的節目を、  
市民をはじめとする多様な主体と分かちあい、より豊かな未来につなげていく契機とする

#### 千葉開府900年に向けた2025年度の取組み

- ◆ 千葉開府900年を来年に控える本年度は、  
開府900年記念事業をはじめとした施設リニューアルやイベントを行う  
これらの取組みを通じて千葉市の歴史、文化、自然などに触れてもらい、  
地域の魅力を再発見し、郷土への愛着と誇りを育む機会とする



詳細はこちらから↓



千葉開府900年  
特設サイト

## 2. 千の葉に時を刻んで900年

## 2025年度の主なイベント



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月
文化・芸術				<b>【5/30~7/21】 葛屋重三郎と浮世絵の キセキ</b>		<b>【8/2~10/19】 千葉市美術館と現代美術</b>			<b>【11/1~1/8】 千葉市美術散歩</b>			<b>【1/17~3/1】 ロックフェラー・ コレクション花鳥版画展</b>
スポーツ・音楽			<b>JAPAN JAM 2025</b> ©JAPAN JAM2025		<b>CHIBA バレーボール ネーションズ リーグ</b>	<b>7/25 夏期季巡回 ラジオ 体操</b>	<b>8/16,17 SUMMER SONIC</b>	<b>9/13~ ROCK IN JAPAN FESTIVAL</b>	<b>10/4~ アルティーリ 千葉シーズン 開幕</b>		<b>12/27~ COUNTDOWN JAPAN</b> ©COUNTDOWN JAPAN	<b>11月3日で 開館30周年！</b>
歴史・環境		<b>BOTANICA MUSEUM リニューアルオープン</b>										<b>B1昇格！</b>
まつり			<b>6/21~29 大賀ハス まつり</b>		<b>8/12 幕張ビーチ 花火 フェスタ</b>	<b>8/16~17 親子三代 夏祭り</b>						<b>今年は 節目の50回！</b>

### 3. 新しく生まれ変わった施設

ボタニカ ミュージアム  
BOTANICA MUSEUM ①

千葉開府900年  
900th CHIBA CITY  
千の葉に 時を刻んで 900年

## 2025年3月29日リニューアルオープン！

### BOTANICA MUSEUMのリニューアル

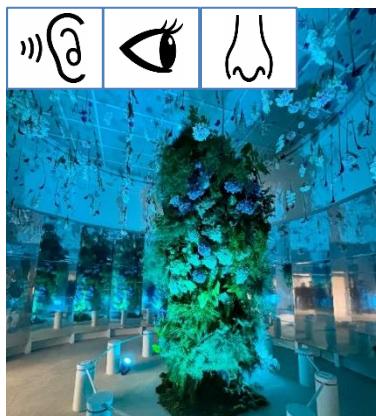
- 花の美術館が、世界で活躍するフラワーアーティスト「HIKARU SEINO」による全面プロデュースのもと、芸術性を高めた「BOTANICA MUSEUM」へリニューアルオープン
- コンセプトは「自然という奇跡を思い出す場所」

### 特徴

- 唯一無二の芸術性
- 五感すべてで感じる自然の魅力
- 新たな体験型コンテンツ



<エントランス>



<BOTA Hz (ボタヘルツ)>



<前庭>



<レストランVermitage (ヴエルミタージュ)>

詳細はこちらから↓



BOTANICA MUSEUM  
特集ページ

### 3. 新しく生まれ変わった施設

## BOTANICA MUSEUM ②



### 館内の見どころ



<MIRACLE TREE (ミラクル・ツリー) >



<HANANINGEN>



<温室 (BOTANICARIUM) のライトアップ>



<HANA ASOBI>

## 4. 市民に長年親しまれている施設

### 千葉市動物公園

**2025年4月28日開園40周年！**

#### 千葉市動物公園

- ・たくさんの自然と動物たちに会える動物公園
- ・レッサーパンダの風太くんで話題に
- ・公園面積は約34万m<sup>2</sup>（東京ドーム約7倍超）
- ・特徴ある飼育・展示動物は96種486点（2025年7月末時点）
- ・2025年4月28日に開園40周年を迎えた



<レッサーパンダの風太>



<開園40周年記念ロゴ>

#### 見どころ・特徴

- ・千葉県内唯一の大型肉食獣の飼育・展示
- ・ライオンのミートキヤッチャーとチーターラン
- ・ゴリラをはじめとした国内屈指のサルの種数
- ・乗馬やエサあげなど、ふれあいで感じる感動体験
- ・アカデミア・アニマリウムの推進
- ・「登録博物館」への登録



<ニシゴリラのモンタ>



<ライオンのミートキヤッチャー>



千葉市動物公園  
Webサイト

詳細はこちらから↓

## 4. 市民に長年親しまれている施設

### 動物科学館（千葉市動物公園内）



## 2025年3月29日リニューアルオープン！

### リニューアルオープンについて

- ・動物園の基本的な使命は野生動物の展示を通して、野生動物を含む自然環境、そして地球を守ることへの気づきや関心、必要な行動変容へ導く情報の発信と体験の提供
- ・絶滅危惧種、熱帯雨林の歴史と現状を通じて地球環境問題を考えるきっかけとなる学習展示施設としてリニューアル



＜リニューアルオープン式典＞



＜エントランスホール＞



＜オグロマーモセット＞



＜バードホール＞



＜林床の世界＞

### リニューアル展示の特徴

- ・エントランスホール  
ボルネオ島の熱帯雨林をモデルに「フタバガキ」の木と生態系をジオラマで再現
- ・バードホール  
1日1回、熱帯雨林のスコールを再現
- ・林床の世界  
熱帯雨林の特異な土壤環境を天井に投影された映像などで解説

### 千葉市動物公園における今後の整備計画

- ・新たなゾーニングのもと、アニマルウェルフェア（動物福祉）を核に湿原ゾーン、森林ゾーンの整備を計画

## 5. 音楽フェス、スポーツ

### 音楽フェスが集まるまち



## 市内で開催の音楽フェスに年間、合計60万人以上が千葉市へ！

### JAPAN JAM GW

- ◆蘇我スポーツ公園で開催
- ◆2025年は4日間で15万6,931人が来場



©JAPAN JAM 2025

### ROAD TO JAPAN JAM

- ・「JAPAN JAM」のオープニングアクト出場をかけた公開オーディションを主催者とともに開催

### ROCK IN JAPAN FESTIVAL

9月

- ◆2022年から蘇我スポーツ公園で開催
- ◆2025年は5日間で30万人の来場見込み



©ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2023

### SUMMER SONIC 8月

- ◆東京会場はZOZOマリンスタジアム＆幕張メッセで開催
- ◆2025年は2日間で11万2,000人が来場



©SUMMER SONIC All rights reserved

### MUSIC LOVES ART – MICUSRAT

- ・SUMMER SONICと連携し、幕張エリアで開催
- ・2025年は30日間で113万人の来場見込み

### COUNTDOWN JAPAN

年末年始

- ◆幕張メッセで開催
- ◆25/26は5日間で20万人の来場見込み



©COUNTDOWN JAPAN

## 5. 音楽フェス、スポーツ

### スポーツを楽しめるまち



#### 千葉市をホームタウンとするプロチーム

- ・千葉ロッテマリーンズ
- ・ジェフユナイテッド千葉
- ・ジェフユナイテッド千葉レディース
- ・アルティーリ千葉



<千葉ロッテマリーンズ>



<アルティーリ千葉>



<ジェフユナイテッド千葉、  
ジェフユナイテッド千葉レディース>



<花見川カヤック体験>  
(花島公園)

#### 千葉市で見学・体験できるスポーツ

- ・250競走 (PIST6)
- ・ストリートスポーツ (スケートボード・BMX)
- ・ヨット
- ・eスポーツ
- ・カヤック



<250競走 (PIST6) >  
(TIPSTAR DOME CHIBA)



<BMXの練習>  
(千葉公園)



<ヨット教室>  
(稻毛ヨットハーバー)



<スケートボードの練習>  
(フクダ電子ボードエリア)



<eスポーツの国際大会>  
(TIPSTAR DOME CHIBA)

## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

### 千葉市美術館



## 2025年11月3日に開館30周年！

### 千葉市美術館とは

- 1995年に開館し、2025年11月3日に開館30周年を迎える
- 開館以来、個性を備えた魅力ある美術館を目指し、以下3分野を収集方針に掲げ、浮世絵から現代アートまで、1万点を超える多数の魅力あふれる作品を収蔵し、多彩な企画展を開催するとともに、「つくりかけラボ」や「びじゅつライブラリー」では参加・体験型のプログラムを実施
  - ① 千葉市を中心とした房総ゆかりの作家及び作品
  - ② 近世・近代の日本絵画と版画
  - ③ 現代美術



<千葉市美術館>

詳細はこちらから↓



千葉市美術館  
Webサイト

### 千葉市美術館開館30周年を記念する展覧会 ①



#### 「江戸の名プロデューサー 蔦屋重三郎と浮世絵のキセキ」【5/30~7/21】

- 今年の大河ドラマの主人公でもある蔦屋重三郎が活躍した「浮世絵の黄金期」を中心に、初期浮世絵から江戸時代後期までの美人画や役者絵の名品の数々によって、浮世絵史を総覧

東洲斎写楽《三代目大谷鬼次の江戸兵衛》  
寛政6年(1794)千葉市美術館蔵

## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

### 千葉市美術館開館30周年を記念する展覧会 ②



#### 「千葉市美術館と現代美術」【8/2~10/19】

- 千葉市美術館での現代美術のあゆみを、草間彌生、河原温、田中敦子、杉本博司、辰野登恵子らによる重要なコレクションを通じて紹介
- 市指定文化財であるさや堂ホールでは、過去の企画展を再現したインсталレーションを行う

#### 「千葉美術散歩」【11/1~1/8】

- 洋画家・堀江正章が指導を行った旧制千葉中学校、ビゴーの滞在で知られる稻毛、田中一村が住んだ千葉寺町、戦後の千葉アートシーンの拠点となった国松画廊などを関連する作品とともに紹介し、千葉市美術館のある「場」を捉え直す



ジョルジュ・ビゴー《稻毛海岸》  
明治36年(1903)千葉市美術館蔵

#### 「ロックフェラー・コレクション花鳥版画展 北斎、広重を中心に」【1/17~3/1】

- アメリカ東海岸の美術大学ロードアイランド・スクール・オブ・デザインに所蔵される、資産家ジョン・ロックフェラーの妻アビー・オルドリッチ・ロックフェラーによるユニークなコレクションから、葛飾北斎、歌川広重による選りすぐりの花鳥版画約160点を展示
- 同時開催：「摺物のわざと美（仮称）」

葛飾北斎《枝垂桜に鸞》天保5年(1834)頃 ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン蔵  
Courtesy of the RISD Museum, Providence, RI.

※このほか常設展示室においても、30周年記念特集として特別な編成による「千葉市美術館コレクション選」展示を、毎月行う

## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

### 大賀ハスイベント



### 千葉公園で「大賀ハスまつり」を開催！

#### 大賀ハスまつりとは

- ・毎年大賀ハスの開花期に合あわせて開催
- ・今年度、千葉開府900年記念事業の一環として開催
- ・千葉の歴史と自然の豊かさを次世代へつなげる機会として、オオガハスの魅力を広く発信



<市の花「オオガハス」>

#### 大賀ハスまつり2025

- ・期 間：2025年6月21日（土）～29日（日）
- ・場 所：千葉公園 蓮華亭
- ・主な内容：大賀ハスガイド、象鼻杯(ぞうびはい)の体験、ミニ講座、演奏会、出店等  
※佐賀県と「オオガハスに関する都市間交流協定」を締結している



<千葉開府900年PRブース>



<大賀ハスガイド>



<象鼻杯>

#### YohaS2025

- ・期 間：2025年6月6日、7日
- ・場 所：千葉公園
- ・主な内容：アートパフォーマンス、ライトアップ、デジタルアートショー等



## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

### 国際スポーツイベントの誘致



### バレーボールネーションズリーグ千葉大会（2025年）



- ・観客数は約9万人
- ・様々な事業も実施  
ex) 学校観戦  
市民招待  
パブリックビューイング  
バレーボール教室 等



### X Games Chiba（2022年～2024年）



### レッドブル・エアレース・ワールドシリーズ千葉（2015年～2019年）

## パラスポーツ

### パラスポーツの推進

- ・パラアスリート学校訪問
- ・パラスポーツコンシェルジュの運営



<パラアスリート学校訪問>

<千葉市オープンボッチャ大会>

### 国際的パラスポーツ大会

- ・アジアトライアスロンパラ選手権



<アジアトライアスロンパラカップ2024/千葉>

## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

### 千葉の親子三代夏祭り



## 千葉市の真夏の風物詩・千葉の親子三代夏祭り！

### 千葉の親子三代夏祭り

- 祭りのテーマは「こどもたちに夢を ふるさとづくり」
- 千葉の親子三代夏祭りは1976年の千葉開府850年を記念して始まったもの
- 本年度は第50回目の節目であり、千葉開府900年を来年に控えた年



<よさこい鳴子踊り>

### 千葉開府900年に向けた取組み

- 市内小学生によるダンボールみこし展示
- 祭り用浴衣の新デザイン作成



<千葉おどり>

詳細はこちらから→  
第50回千葉の親子三代夏祭り  
Webサイト



### 千葉駅周辺の活性化を目指して

#### 中央公園プロムナードの将来像

「車中心」から「ひと中心」のまちづくりへの転換に向け、中央公園プロムナードを「交流が生まれる場所」へ再編するため、広くまちづくりに関わる方々とともに検討を進める

#### 千葉公園通り（弁天31号線）ウォーカブル推進

千葉駅から千葉公園へのアプローチである千葉公園通りを、「ひと」中心の、居心地がよく、歩いて楽しい空間にする

#### 中心市街地の活性化

千葉都心イルミネーション、中央公園イベント支援



<ちこほこ（千葉公園通りホコ天）>

## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

# 千葉国際芸術祭2025～ちから、ひらく。～①



## 千葉国際芸術祭2025がいよいよ本格的に始動！

### 千葉国際芸術祭とは

#### ◆「市民参加型」の新しいスタイルの芸術祭

- ・アーティスト作品の鑑賞
- ・アーティストと一緒にアートプロジェクトに参加し、作品と一緒に制作するワークショップを開催
- ・自分の作品を発表できる機会の提供
- ・創造的活動を楽しむことができる機会の提供

#### ◆市内各地にアーツフィールド（文化創造拠点）を展開

- ・特定のメイン会場を設けない
- ・日常の中に埋もれがちな都市の隙間や空き店舗、公共空間など、地域の魅力を備えた知られざる場所を、アーティストの視点で掘り起こし、アートプロジェクトの拠点として活用

# ち

千葉国際芸術祭 2025

Chiba City Arts Triennale 2025

ちから、ひらく。

人づくり  
新たな発見から  
「意識変容」が生まれる

まちづくり  
「行動変容」でまちを変える

未来づくり  
市民の創造性が  
「社会変容」を生み出す



詳細はこちらから↓



<ワークショップ わたしの千葉市！テーマパークの模型を作ろう！@イオンモール幕張新都心>

千葉国際芸術祭公式サイト

## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

# 千葉国際芸術祭2025～ちから、ひらく。～②



### 千葉国際芸術祭2025とは

- ・「市民参加型」の新しいスタイルの芸術祭
- ・市内のあるあちこちがアーツフィールドとなり、アーティストも生活者も来訪者もみんなで作る新たなアートの祭典

### 会期

※いずれの期間でも市民が参加できるプログラム等を実施

- ・まちなかリサーチ・制作期間 : 4月～9月中旬
- ・集中展示・発表期間 : 9月19日（金）～11月24日（祝・月）
- ・振り返り期間 : 12月



<千葉国際芸術祭2025記者発表会>  
(千葉市役所本庁舎内市民ヴォイド)

### 参加アーティスト

- ・公募プロジェクト「ソーシャルダイブ」にて、海外アーティスト7組と本市にゆかりのある若手アーティスト7組を選定
- ・本公募枠を含めた計32組のアーティストが市内各地でさまざまなアートプロジェクトを展開

### 主なエリア・アーツフィールド

- ・主なエリア  
千葉駅周辺エリア／市場町・亥鼻エリア／千葉市役所周辺エリア／西千葉エリア／千葉公園周辺エリア／海浜エリア
- ・主なアーツフィールド  
千葉市役所／国道357号上部空間／そごう千葉店／アーツうなぎ／千葉モルール 県庁前駅／花見川／  
花見川団地／西千葉工作室／旧高洲第二中学校／千葉市動物公園／千葉県こども病院／ほか

## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

# 千葉国際芸術祭2025～ちから、ひらく。～ ③



### アートプロジェクト

- ・ 主なアートプロジェクト



\* 作品イメージ

**伊東敏光**

「臥遊（がゆう）-ガード下神殿-」

会 場：西千葉駅ガード下  
(中央区春日2-24-2)

西千葉駅脇の高架下に「ガード下神殿」が誕生します。神殿に横たわるのは、全長約8メートルの巨大な女神像。建築資材を流用し、アーティストの伊東敏光さんと近隣住民の方々とともに制作されたものです。女神像の体には数多くの風鈴が吊るされ、列車の通る音や駅前の喧騒と共に、涼やかな音がガード下の空間に響きます。あたらしい神様を前に、あなたなら何を願いますか？



\* 作品イメージ

**沼田侑香**

「パラレルワールド」

会 場：千葉都市モノレール 県庁前駅  
(中央区市場町1-2 ※改札内)

千葉都市モノレール「県庁前駅」に幻のホームがあることを知っていますか？延長計画が中断され、使う乗客がいない未使用的のホームが存在します。アーティストの沼田侑香さんは、このホームを「パラレルワールドにある架空のホーム」として、市にゆかりのある人々の等身大の姿を展示します。モノレールを待つ人々が、ある位置から見ると背景に同化するような不思議な光景…ぜひ見てみてください!!



\* 作品イメージ

**安西 剛**

「Giant Micro Plastic」

会 場：稻毛記念館  
(美浜区高浜7-2-3)

海は私たちの命を支えるとても大切な資源ですが、目に見えないほど小さな「マイクロプラスチック」が重大な問題になっています。この「見えない問題」を人々に訴えかけるため、アーティストの安西剛さんが制作するのが「Giant Micro Plastic」です。マイクロプラスチックをペーパークラフトにして巨大化したアート作品。アートから環境を考えていませんか？

他にも、全体で37の様々なアートプロジェクトが市内に展開します

# 6. 千葉開府900年を記念するイベント

## 郷土博物館



# 2025年11月リニューアルオープン！

## 郷土博物館とは

- ・中央区亥鼻、史跡猪鼻城跡に建つ博物館（通称：千葉城）
- ・郷土の歩みを楽しみながら学べる博物館
- ・千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する調査研究、資料の収集・保存展示や講座を実施
- ・千葉市の歴史書である『千葉市史』の編さん事業
- ・千葉城と満開の桜が織りなす幻想的な光景を楽しめる「千葉城さくら祭り」が例年開催され、市民に親しまれている（2026年は、千葉開府900年の本期間のスタートを飾る市民参加型のイベントとして、桜色のランタン上げ、竹あかりの展示を実施予定）

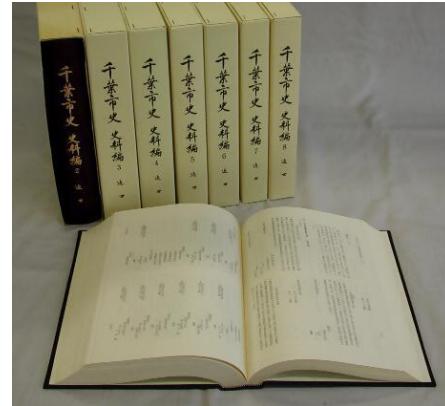


＜郷土博物館（千葉城）＞

※展示リニューアル工事に伴い現在休館中（～2025年11月上旬を予定）



＜歴史講座＞



＜『千葉市史』＞

詳細はこちらから↓



郷土博物館  
Webサイト

## 6. 千葉開府900年を記念するイベント

### 郷土博物館展示リニューアル



#### リニューアルについて

千葉開府900年に向けて、市民が千葉氏をはじめとする郷土の歴史を楽しみながら学べる拠点施設とするため、展示リニューアルを実施

##### ◆展示リニューアルのコンセプト

「郷土千葉のあゆみ、そのダイナミズムがわかる博物館への再生」

##### ◆展示テーマ

陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」



<完成イメージ図（2階展示室 近世・近現代）>

#### リニューアルの主な特徴

- 千葉がわかる！～千葉市ならではの全ての時代を学べる展示・千葉氏展示の実現～
- 楽しく学ぶ！～ここでしかできない体験の創出～
- 機能向上！～入りやすく、使いやすい施設に刷新～



<完成イメージ図（3階展示室 中世）>

#### 特別展について

特別展「千葉氏と城館ー住もう・治める・戦うー」（2026年1月～3月）

## 7. これから千葉開府900年に向けた取組み

# 2026年度の主な取組み



### シンボル事業

- 記念式典 [亥鼻公園] (2026年6月)
- 記念まつり [TIP STAR DOME CHIBA(千葉公園)] (2026年6月)
- 記念パレード [千葉駅前大通り] (2026年11月)
- 記念モニュメント [千葉駅周辺] (2027年3月完成予定)

### ひとつづくり事業

- 高校生海外派遣プログラム (2025年秋～2026年冬予定)
- 起業家海外展開実践研修 (2025年秋～2027年3月予定)

### 文化づくり事業

- 記念サイクリング・ウォーキング (2026年秋～冬)
- 千葉市美術館企画展 (2026年10月)

### 歴史関連事業

- 郷土博物館特別展 (2026年1～3月、7～9月、10～12月)
- 千葉氏サミット開催 (2026年8月)
- 千葉氏こどもサミット開催 (2026年11月)



※記念パレードイメージ

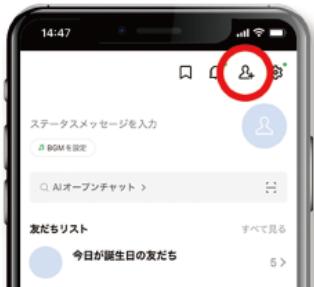
<2018年 千葉常胤生誕900年記念 騎馬武者行列>

お知らせ

# 千葉市 LINE公式アカウント 友だち募集中!

STEP  
1

LINEアプリのホーム画面右上の  
「友だち追加」アイコンをタップ



STEP  
2

「QRコード」または「検索」  
どちらかを選択



STEP  
3

QRコードで登録

QRコード  
を読み取  
り友だち  
追加。



IDで登録

ID検索をして友だち追加

@chibacity

様々な市政情報を発信中！

●4つの充実したメニュー！

●ごみの分別方法を自動で回答！

●万が一のときに安心の「災害時モード」！

●受信設定に回答し、ほしい情報だけを受け取ろう！

